

日中戦争

1937 年 7 月 7 日、日本軍と中国国民党（国民政府）の軍が、偶発的な衝突を起こした。これを機に対日抗戦論が沸騰したため、両軍は衝突を繰り返した。第 1 次近衛文麿内閣は、兵力の増派という断固たる態度をとれば、国民政府側が短期間に屈服すると期待した。しかし、この増派が泥沼化する全面戦争の幕開けであった。

○ 枢軸国の登場

● 秩序維持の両輪

第一次世界大戦後の世界秩序は、次の 2 つから構成・維持されていた。

① ヴェルサイユ体制…ヴェルサイユ条約でのドイツ封じ込めを保つ状態

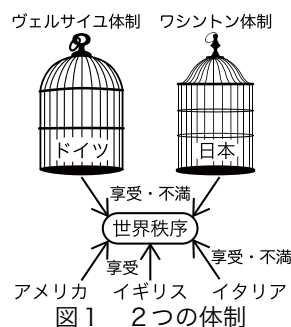
②⁽¹⁾ _____ 体制…ワシントン会議での諸条約の遵守を目指す状態

⇒しかし、一部の国は、両体制で不利な立場を強いられ、不満を募らせていた。



世界恐慌後、不満を抱くドイツ・イタリア・日本は、体制を揺さぶり始めた。

⇒1936 年、ドイツ・イタリアは連帯し、米・英への対抗勢力「枢軸」となった。



● 孤立と防共の結束

1928～1932 年、ソ連は急速に国力を強め、他国へ共産主義の影響を与えた。

<⁽²⁾ _____ 内閣 | 1936 年 3 月～1937 年 1 月>

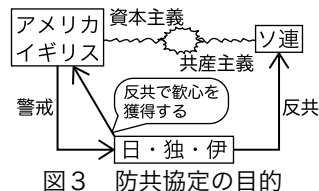
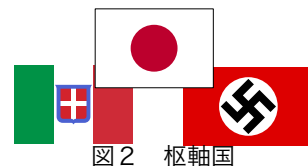
1936 年、⁽³⁾ _____ 調印

…共産主義の拡大を進めるソ連に対抗するため、日本とドイツが結んだ協定

<第 1 次近衛文麿内閣 | 1937 年 6 月～1939 年 1 月>

1937 年、日独伊三国防共協定調印

…国際に孤立する日本・ドイツ・イタリアが、対ソ連の立場で結束した協定



○ 日中戦争

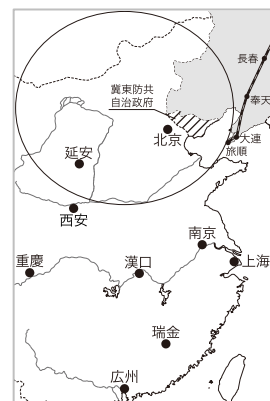
● 華北分離

1933 年の⁽⁴⁾ _____ 後、関東軍は、満州国のさらなる緩衝地帯を求めた。

→関東軍は、国民政府の統治から中国華北を切り離す政策⁽⁵⁾ _____ を進め、

1935 年、華北に傀儡政権である冀東防共自治委員会を樹立した。

⇒1936 年、日本政府も（5）を国策と決めた。



● 共産党掃討の優先

中国国民党は、1927 年に国民政府を樹立した後も、中国共産党との内戦を続けた。

→猛攻を受けた中国共産党は、根拠地の瑞金を放棄し、延安に移動（長征）した。

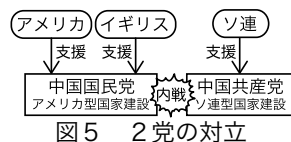
⇒日本の華北分離工作が進んでも、国民政府は中国共産党の掃討を優先した。



1936 年、⁽⁶⁾ _____

…中国共産党討伐の激励に西安に赴いた国民政府指導者⁽⁷⁾ _____ が、

張学良に監禁され、中国共産党との内戦停止と抗日協力を求めた事件



●日中戦争の開戦

<第1次近衛文麿内閣 | 1937年6月～1939年1月>

1937年7月7日、⁽⁸⁾ _____

…日本軍と国民政府の軍が、⁽⁹⁾ _____ 郊外で偶発的に（？）衝突した事件

◇1901年の北京議定書に従い、諸外国は（9）に駐兵



（8）自体の停戦は成立したが、その後も⁽¹⁰⁾ _____ などで両軍は衝突した。

⇒⁽¹¹⁾ _____ 内閣は、兵力の増派を決め、国民政府も抗戦を続けたので、

両軍の衝突は、宣戦布告なしの全面戦争⁽¹²⁾ _____ に発展した。

◇(12) …宣戦布告なしのため、終戦前は初め北支事変、ついで支那事変と呼称



1937年9月、国民政府は、⁽¹³⁾ _____ という方針を固め、

中国共産党との協力関係である第2次国共合作に踏み切った。

⇒1937年12月、日本軍が国民政府の首都⁽¹⁴⁾ _____ を占領したが、

国民政府は（14）から漢口、さらに⁽¹⁵⁾ _____ に移動して抗戦を続けた。

◇(14) …占領時に、日本軍による一般住民虐殺南京事件が起きたとされるが、
蒋介石はこれに一言も言及なし



図6 盧溝橋



図8 日本軍を歓待する南京市民

●諸外国の疑心暗鬼と援蒋

米・英は、戦火を拡大する日本に「中国侵略の意志あり」と疑った。

⇒米・英は、日本の弱体化と中国における権益獲得・保全を目的に、
様々な物資供給路⁽¹⁶⁾ _____ で、国民政府を支援した。



国民政府は、劣勢でありながらも、（16）で抗戦を続けられた。

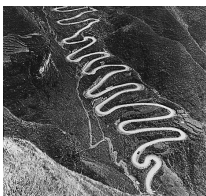


図9 ビルマ公路



図10 レド公路



図11 アメリカの援蒋



図12 諸外国の援蒋

●交渉失敗と泥沼化

<第1次近衛文麿内閣 | 1937年6月～1939年1月>

開戦以来、日本はドイツの仲介で国民政府と和平交渉をおこなうも失敗した。

⇒1938年1月、⁽¹⁷⁾ _____ 首相は、「⁽¹⁸⁾ _____」と声明し、
国民政府との和平の道を閉ざした。

⇒中国各地への傀儡政権樹立と、これらと交渉して戦局收拾を目指す方針を示した。



日本は、戦局收拾のために、具体的に次の3つに取り組んだ。

①1938年11月、戦争の目的が、自衛のための⁽¹⁹⁾ _____ 建設と主張

②1938年12月、近衛三原則（善隣友好・共同防共・経済提携）の呼びかけ

③1940年、「新国民政府（首班：⁽²⁰⁾ _____）を南京に樹立し、交渉相手を変更

◇(19) …日本・満州国・中国が結束した相互扶助関係



汪兆銘 (1885～1944)

徹底抗戦を貫く蒋介石に対して、
抗戦による民衆の被害を憂い、蔣
と袂を分かった。日本との和平
を望み、「新国民政府」を樹立した。
戦後、裏切り者と罵られた。